

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、一部に弱さがみられるものの、基調としては緩やかに持ち直している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、横ばい圏内の動きとなっている。設備投資は、横ばい圏内の動きとなっている。個人消費は、一部に弱めの動きもみられるが、底堅く推移している。住宅投資は、弱い動きとなっている。この間、生産は、持ち直しの動きが足踏みしている。雇用・所得環境は、持ち直している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、前年を上回っている。

2. 需要項目別の動向

(1) 公共投資・・・横ばい圏内の動きとなっている

4月の公共工事請負金額は、前年を上回った。国などの発注が減少したものの、県などの発注が増加した。

(図表1) 公共工事請負金額 前年比、%

	2023年 6月	9月	12月	2024年 2月	3月	4月
山形県	9.2	▲3.1	▲24.8	▲11.5	▲19.3	8.0

<資料>東日本建設業保証(株)

(注) pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの(以下同じ)。

(2) 設備投資・・・横ばい圏内の動きとなっている

3月短観における2024年度の設備投資計画をみると、製造業は増加計画、非製造業は減少計画、全産業では増加計画となっている。

この間、3月の建築着工床面積(民間非居住用)は、卸売・小売、製造業などが減少したため、前年を下回った。

(図表2) 県内企業の設備投資額(2024年3月山形短観) 前年度比、%

山形県	2022年度(実績)	2023年度(計画)	2024年度(計画)
全産業	▲16.9	▲2.6< ▲6.2>	15.6
製造業	100.8	▲3.8< 0.0>	25.0
非製造業	▲61.2	▲0.3< ▲16.4>	▲2.5

<資料>日本銀行山形事務所

< >内は前回調査比修正率、%

(図表3) 建築着工床面積(民間非居住用) 前年比、%

	2023年 6月	9月	12月	2024年 1月	2月	3月
山形県	▲77.1	▲30.2	105.5	256.5	▲68.3	▲61.7

<資料>国土交通省

(3) 個人消費・・・一部に弱めの動きもみられるが、底堅く推移している

3月の百貨店・スーパー販売（全店ベース）は、19か月連続で前年を上回った。ドラッグストアは、36か月連続で前年を上回った。コンビニエンスストアとホームセンターは、前年を下回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2023年 7～9月	10～12月	2024年 1～3月	2024年 1月	2月	3月
全店	6.7	4.5	2.6	1.3	2.6	4.0
既存店	2.8	1.1	0.6	▲1.2	1.0	2.2

＜資料＞経済産業省

4月の乗用車新車新規登録・届出台数は、4か月連続で前年を下回った。

(図表5) 乗用車新車新規登録・届出台数 前年比、%

山形県	2023年 6月	9月	12月	2024年 2月	3月	4月
乗用車 合計	21.4	8.6	9.2	▲19.1	▲28.7	▲8.6
普通車	51.9	13.9	18.3	▲13.5	▲13.8	▲2.2
小型車	9.4	7.6	1.1	▲31.1	▲50.3	▲13.7
軽四輪	7.5	5.2	6.5	▲16.2	▲27.4	▲11.7

＜資料＞東北運輸局

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に回復している。

(4) 住宅投資・・・弱い動きとなっている

3月の新設住宅着工戸数は、持家と分譲が減少したものの、貸家が増加したため、前年を上回った。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2023年 6月	9月	12月	2024年 1月	2月	3月
山形県	15.1	1.4	▲30.5	▲38.8	▲1.2	9.2
持家	▲4.7	▲17.3	▲20.2	▲29.2	▲0.6	▲11.3
貸家	▲36.1	41.2	▲9.8	▲50.5	▲20.7	152.9
分譲	193.8	6.1	▲64.1	▲40.9	24.3	▲47.6

＜資料＞国土交通省

3. 生産・・・持ち直しの動きが足踏みしている

2月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月を下回った。業種別にみると、汎用・生産用・業務用機械、家具など14業種で上昇したものの、化学、電子部品・デバイスなど8業種で低下した。在庫指数（季節調整済）は、前月を下回った。

（図表7）鉱工業指数

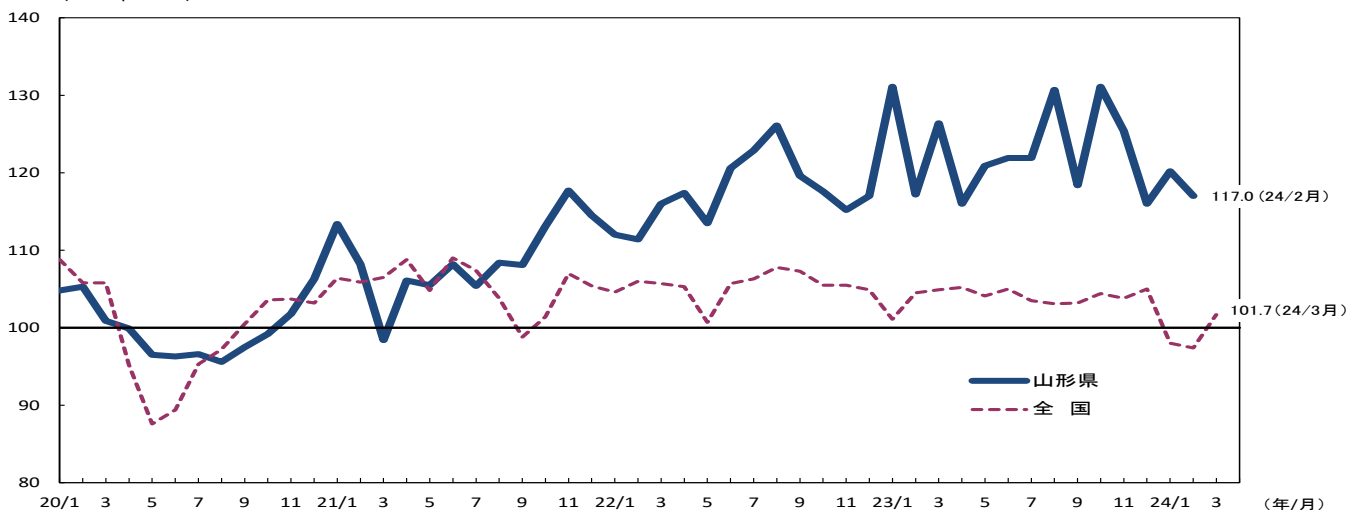
2020年基準

山形県		2023年 3月	6月	9月	2023年 12月	2024年 1月	2月
生 産	季節調整済前月比%	7.8	0.8	▲9.4	▲7.5	3.6	p ▲2.7
	原指数前年比%	8.9	1.1	▲1.1	▲2.6	▲6.6	p ▲3.8
在 庫	季節調整済前月比%	5.3	4.4	▲6.9	2.0	▲3.7	p ▲0.8
	原指数前年比%	4.3	11.1	1.2	11.3	5.4	p 6.3

〈資料〉山形県

（図表8）鉱工業生産指数（季節調整済）の推移

（2020年=100）



〈資料〉経済産業省、山形県

4. 雇用・所得環境・・・持ち直している

3月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.32倍となった。業種別の新規求人数をみると、公務などが増加した一方、宿泊・飲食サービス、サービスなどが減少した。

（図表9）雇用関係指標（その1）

倍、%

山形県	2023年 7～9月	10～12月	2024年 1～3月	2024年 1月	2月	3月
有効求人倍率	1.39	1.35	1.32	1.30	1.32	1.32
完全失業率	1.5	1.7	n. a.	—	—	—

〈資料〉総務省、山形労働局

（注）有効求人倍率の四半期データは、四半期末の水準。

2月の常用雇用指数は前年を上回った。所定外労働時間は前年を下回った。

(図表 10) 雇用関係指標 (その 2) 2020年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2023年 3月	6月	9月	2023年 12月	2024年 1月	2月
常用雇用指数	1.4	0.3	0.5	1.3	1.1	1.2
所定外労働時間	▲0.9	▲10.2	▲12.3	▲10.1	▲9.9	▲4.0

<資料>山形県

2月の現金給与総額(名目賃金指数)、きまって支給する給与ともに、前年を上回った。

(図表 11) 所得関係指標 2020年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2023年 3月	6月	9月	2023年 12月	2024年 1月	2月
現金給与総額 (名目賃金指数)	1.3	8.2	1.3	5.2	▲0.7	1.7
きまって支給 する給与	1.5	2.4	0.2	0.9	▲0.3	2.1

<資料>山形県

5. 企業倒産・・・低水準ながら前年比増加

4月の企業倒産(負債額10百万円以上)は4件、負債総額は2.6億円となった(前年同月は2件、4.6億円)。

(図表 12) 企業倒産 件、億円

山形県	2023年 6月	9月	12月	2024年 2月	3月	4月
件数	5	12	5	6	13	4
負債総額	10.4	40.8	17.3	14.4	13.2	2.6

<資料>(株)東京商工リサーチ

6. 物価・・・前年を上回った

3月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、食料品などの価格上昇から前年を上回った。

(図表 13) 消費者物価指数 2020年基準、前年比、%

山形市	2023年 6月	9月	12月	2024年 1月	2月	3月
総合	3.4	3.4	3.5	3.4	3.8	3.5
生鮮食品を除く総合	3.5	3.0	3.1	3.2	3.7	3.3

<資料>山形県

7. 金融

2月の県内預金(銀行+信用金庫)は、前年を下回った。県内貸出(銀行+信用金庫)は、前年を上回った。この間、貸出金利は横ばい圏内で推移している。

(図表 14) 預金、貸出金

%

山形県	2023年 3月	6月	9月	2023年 12月	2024年 1月	2月
実質預金+CD (末残前年比)	1.3	0.7	1.5	0.5	0.3	▲0.5
貸出金 (末残前年比)	2.1	2.3	3.5	3.5	3.1	3.8

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利

%ポイント

山形県	2023年 4~6月	7~9月	10~12月	2023年 12月	2024年 1月	2月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.020	0.016	▲0.003	▲0.001	▲0.010	0.005

2月末水準
0.861%

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以上

(内容に関するお問い合わせ先)
 日本銀行山形事務所
 TEL: 023-622-4004